



県病医療ニュース

〒870-8511 大分市豊饒二丁目8番1号 TEL097-546-7111(代表) 内線7712:県病ニュース係



※当ニュースへのご意見・ご感想は県病ウェブサイトをご利用ください。

大分県立病院ウェブサイトはこちら

心臓血管外科

急性大動脈解離について

急性大動脈解離という病気をご存知でしょうか？時折、著名人の訃報でこの病名を耳にする方もおられるかもしれません。当科が担当する疾患の中でも極めて重篤な病気の一つです。

ではいったい、どんな疾患なのか。大動脈は3層(内膜、中膜、外膜)の構造をしていますが、血管に亀裂(エントリー)が入り中膜に一気に血液が流れ出し大動脈が裂けていくという恐ろしい病気です。いままで経験したことのない胸背部の激痛が大きな症状です。裂けた血管は外膜一枚となっておりそこからの破裂、出血による心臓の圧迫(心タンポナーデ)により突然死を起こします(図1)。

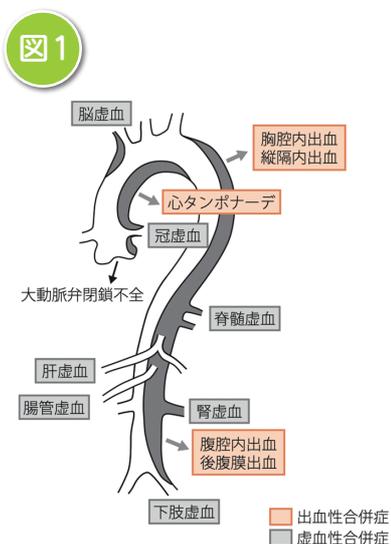
裂ける部位でA型(心臓に近い部分)、B型(心臓より遠い部分)と分類しています(図2)。A型は病院到着前での死亡率が61.4%におよび、病院に到着しても24時間以内の死亡率が93%に及ぶと言われており、緊急手術の適応になります。B型は基本的には集中治療室での安静、降圧療法となります。

起こしやすい人は高血圧を放置していた方(検診で言われていたが・・・、かかりつけ医の薬を自己中断した・・・)が多く、特に寒暖差が大きい冬の寒い時季に起きやすくなります。

手術に関しては裂けた部位(エントリー)を取り除き、人工血管に置換するのが基本術式です(図3)。手術は5時間前後におよび、裂けた血管に吻合するため出血、頭の血管を取り替えるため脳梗塞が大きな危険となります。

とにかく発症しないことが一番です。血圧管理をしっかりして、今日は寒いなっていう日は少し暖かくなってからか、暖かい服装で外出してください。

(心臓血管外科 副部長 久田 洋一)



参考:日本循環器学会2020年改訂版 大動脈瘤・大動脈解離診療ガイドライン 画像提供:(株)日本ライフライン

※掲載内容の詳細は各科外来・各病棟でお尋ねください。

(裏面をご覧ください)

看護部

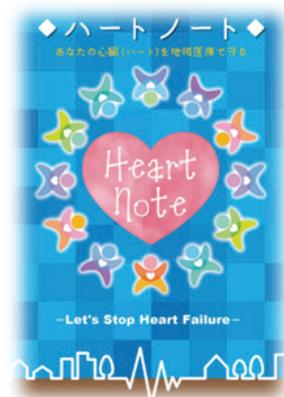
心不全看護外来のご案内

「心不全とは、心臓が悪いために、息切れやむくみが起こり、だんだん悪くなり、生命を縮める病気です」と定義されています。高齢化や食生活の欧米化により、心不全患者さんは急激に増加しています。

心不全は良くなったり、悪くなったりを繰り返しながら、徐々に進行していく特徴をもっています。心不全は治療により症状が軽快しても、その後の管理がされないと繰り返し悪くなってしまいます。心不全患者さんが症状の悪化なく日常生活を過ごすためには、心不全患者さんご自身が治療に参加し、生活を調整していく必要があります。

大分県立病院では、心不全患者さんの生活を支援するために、心不全看護外来を開設しています。心不全看護外来では、心不全患者さんやご家族が、心不全とうまく付き合いながら、よりその人らしい生活を送るための『療養生活の支援』や『人生会議』（厚生労働省が普及、啓発を行う、もしものときのために、患者さんが望む医療やケアについて前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取組のこと）を一緒に考えています。

また、大分県全体の医療機関で普及、推進している心不全の自己管理用ノート【ハートノート】の教育や配布も行っています。医師とともに、心不全患者さんがハートノートを用いて、自己管理ができるように支援しています。



<心不全看護外来>

日時: 木曜日・金曜日 9時～16時

場所: 循環器内科外来

対象者となる方: 当院循環器内科・心臓血管外科外来に通院中の患者さん

担当者: 慢性心不全看護認定看護師・心不全療養指導士

受付方法: 主治医、もしくは循環器内科外来看護師まで、お問い合わせください。

(慢性心不全看護認定看護師 佐藤 寛子)



看護師ほか医療スタッフの臨時職員を募集しています。詳しくはこちら